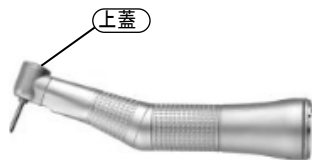


機械器具 61 ストレート・ギアードアングルハンドピース JMDN コード 70692000
管理医療機器 特定保守管理医療機器
オサダ HL-C ハンドピース
(CA18 / CA19)

※【形状・構造及び原理等】

1. 形状



20 万回転コントラアングルハンドピース
(CA18)

バー着脱器 (専用)



20 万回転ミニコントラアングルハンドピース
(CA19)

バー着脱器 (専用)

材質：真鍮

2. 仕様

機種	最高入力 回転速度	最高出力 回転速度	使用 時間	適合モータ
CA18	40,000 min ⁻¹ (40,000 回転/分)	200,000 min ⁻¹ (200,000 回転/分)	3 分間 の 断続	HL、HL-D、G2 モータ
CA19	40,000 min ⁻¹ (40,000 回転/分)	200,000 min ⁻¹ (200,000 回転/分)		HL-C、G1、GSL、 ISO 規格モータ

3. 使用環境条件

下記条件にて使用すること。(但し、結露しないこと)

周囲温度	10-40 °C
相対湿度	30-75 %
気圧	700-1060 hPa

【使用目的又は効果】

駆動源からの回転を等速又は変速して、歯又は義歯等を切削又は研磨する歯科用バー、リーマ等に伝達すること。

3) 操作

①回転のオン・オフ

4) 使用後の処理

①バーの取外し

②ハンドピースとモータの取外し

③清掃・保守

※【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

1) 口腔外科手術(抜歯、埋伏歯の切除、骨切削等)には使用しないこと。薬液、血液の混入により早期に故障することがある。

2) 使用前にハンドピースとモータが確実に取り付けられているか確認すること。またハンドピースに取り付けたバーを引っ張り抜けないことを確認すること。

3) 使用するバーは、下記の範囲のものを使用すること。

シャंक径 φ1.59-1.60 (ISO 規格)

シャंक長 9.5mm 以上

全長 19mm 以下

4) 規格外、変形、摩耗しているバー、曲がっているバー、汚れているバー、薬液等が付着したバーは使用しないこと。

5) 必ずスプレーを出して使用すること。スプレーを出さずに使用すると、ハンドピース本体が発熱し火傷の恐れがある。

6) 上蓋を口腔内の粘膜や口唇に接触させないで下さい。上蓋の小穴に粘膜が入り込み、内部の回転体に触れ、火傷の恐れがあります。また、モータからのエアがコントラアングルハンドピース内で暖まり、小穴から排出するため火傷の恐れがあります。

7) バーが回転している状態で口腔内への出し入れをしないこと。患者がケガをする恐れがある。

8) バーの着脱は回転が停止している状態で行うこと。内部部品が破損する恐れ、また回転をしているバーにより、ケガをする恐れがある。

9) 保守オイルで注油した後は必ず強制オイル切りを行い、ハンドピース内に余分なオイルが残らないようにすること。余分なオイルが残っていると発熱の原因となる。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管の条件

下記条件にて保管すること。(但し、結露しないこと)

滅菌バッグに入れて滅菌をした後は、そのまま保管すること。

周囲温度	-10-60 °C
相対湿度	10-90 %
気圧	700-1060 hPa

直射日光に長時間さらさないこと。

※【使用方法等】

機器の詳細な使用法は、使用前に必ず取扱説明書を参照すること。

1. 使用方法

1) 使用前の準備

①ハンドピースとモータの接続

②バーの取付け

2) 使用前の点検

①ハンドピースとモータ・バーの接続確認

(指で引っ張り抜けないことを確認)

②回転中の振動、異音、温度確認

2. 耐用期間

製造の日から、正規の使用法、保守点検を行った場合に限り 7 年間。(自己認証による)

取扱説明書を必ずご参照下さい。

【保守・点検に係わる事項】

機器の詳細な清掃・消毒・滅菌方法は、使用前に必ず取扱説明書を参照すること。

1. 清掃・消毒・滅菌

○：適用可 ×：適用不可

	清掃	消毒	滅菌	
	中性洗剤 水拭き	アルコール 清拭	高圧蒸気 滅菌	135℃ 以下 乾燥工程
コントラアングル ハンドピース	○	○	○	○

使用後直ちに保守オイルで十分に注油・洗浄を行い、滅菌すること。

※下記のことは行わないこと。

錆、変色、故障の原因になる。

①薬液への浸漬

②酸性水・アルカリ水での洗浄・浸漬。

③オートクレーブでの乾燥工程(135℃を超える場合)。

④乾熱滅菌、高圧アルコール蒸気滅菌。

※ (ウォッシュャブルマーク)が付いているハンドピースに関しては、取扱説明書の注意事項を参照すること。

2. 保守・点検

使用者による保守点検事項

長期保管した場合は、使用前に十分点検を行ってから使用すること。

点検・保守 頻度	点検・保守内容（概略）
使用前	ハンドピースとモータの接続確認
	バーは、緩み無く取付けてあること
	回転中の異音、振動、温度確認
使用后	ハンドピースに付着した血液・薬液及び切削粉の除去・水洗
	ハンドピースの注油・洗浄
	馴らし回転及びオイル切り
	ハンドピースの滅菌

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者/製造業者/設計業者

: 長田電機工業株式会社

TEL(本社) : 03-3492-7651

ホームページ : <http://osada-group.jp/>

取扱説明書を必ずご参照下さい。